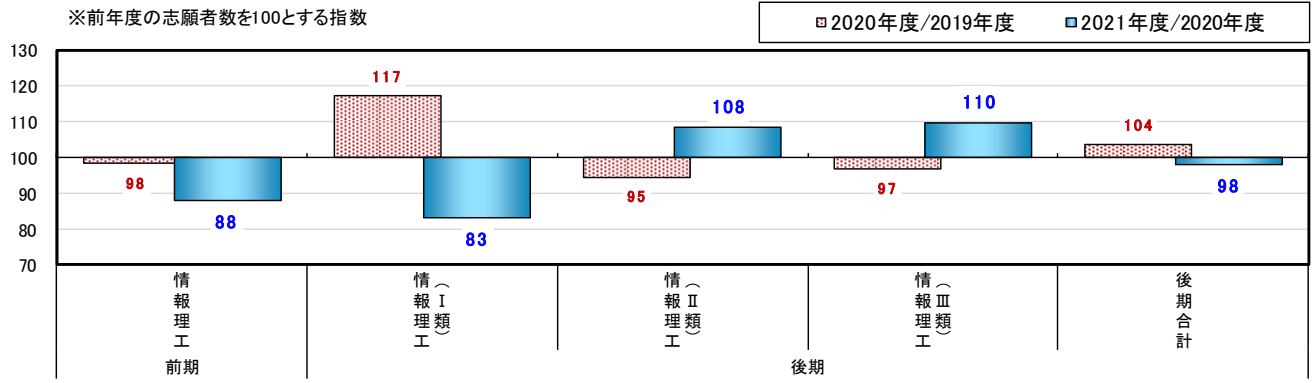


2021 年度入試状況分析【国公立大】

電気通信大：前期は2年連続減少、後期は微減

前期：-199人 後期：-49人



入試変更点

2段階選抜：情報理工<後>…実施なし→8倍
 ※コロナ禍による特別措置(密集を避けるため試験教室定員削減のため)

募集人員：情報理工<前>…370人→349人

個別試験：情報理工<前>…A方式(数学重点)：数<200点>+理2<150点>+外(英)<100点>、
 B方式(理科重点)：数<150点>+理2<200点>+外(英)<100点>
 →(数学重点)数<200点>+理2<150点>+外(英)<100点>のみに変更

COMMENT ※ () 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は199人(88)の減少で2年連続減少。後期49人(98)は、コロナ禍による2段階選抜実施の影響もあり微減。志願者数は2,500人を下回った。

<前期日程>

○情報理工(88)は、募集人員が21人減少(募集人員の前年度対比指数94)の影響もあって減少。2年連続減少。志願者数は1,500人を下回り、志願倍率は4.5倍→4.2倍にダウンした。

<後期日程>

○情報理工(98)は、微減。コロナ禍による試験教室定員削減のため2段階選抜が実施され、<中期・後期>では、不合格者が480人と全国で2番目に多かった。類別では、理工系の(III類)(110)、融合系の(II類)(108)が増加。情報系の(I類)(83)は、2016年度の募集単位の変更後、初めて減少に転じた。